

次世代センサ協議会では、若手研究者・技術者の方々を対象としたチュートリアル的な教育の場として、また中堅技術者・管理者の方々が最先端技術の情報に触れる場としてもご活用いただけるよう、毎年「センサテクノスクール」を開催しております。

今回は、バイオセンサ、MEMS アクチュエータ、マイクロ/ナノ流体デバイスです。奮ってご参加ください。

(企画：石森義雄)

### プログラム

約 60 分	<p><b>バイオセンサ -基礎、応用から最新動向まで-</b>            バイオセンサの歴史、主な種類とセンシング方法、特徴および国内外の研究の最新動向と来るべきデジタルヘルス・スーパーヘルス社会に必要な技術について平易に紹介する。  <b>産業技術総合研究所 先端フォトニクス・バイオセンシング</b>  <b>オープンイノベーションラボラトリ ラボ長</b>                      <b>大阪大学 産業科学研究所 特任教授</b>  <b>民谷栄一氏</b></p>
約 60 分	<p><b>MEMS アクチュエータ -電磁、静電、圧電駆動-</b>            MEMS デバイスの応用分野としてアクチュエータがある。これまで、MEMS ミラーや振動型センサについて、電磁・静電・圧電制御のデバイスを各種施策してきた経験から、アクチュエータの具体例や設計の勘所などについて説明する。  <b>兵庫県立大学 大学院工学研究科 電子情報工学専攻 教授</b>  <b>前中 一介氏</b></p>
約 60 分	<p><b>マイクロ/ナノ流体デバイスの現状と展望 -ピコリットルからトンまで国際産学連携イノベーション-</b>            液体を流す回路を小さなチップに集積化したのが流体デバイス。様々な化学実験室をデバイスに集積化できる。たった一つの細胞、ピコリットル試料からのタンパク質分析から、1000 枚、10,000 枚のデバイスを直列並列に大規模配列したトン/年の生産量を実現するデスクトップ化学プラントまで、応用範囲は限りない。東大を退職して、台湾の国立清華大学とスウェーデンのルンド大学との国際共同研究や、台湾でのベンチャー企業設立や日本企業、台湾企業との国際産学連携イノベーションを目指した取り組みについても紹介する。  <b>東京大学名誉教授</b>  <b>国立清華大学 (Taiwan) Yushan Honorary Chair Professor 玉山榮譽講座教授</b>  <b>北森武彦氏</b></p>

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

- **日時**： 2022 年 2 月 18 日 (金) ～3 月 4 日 (金)
- **場所**： オンデマンド配信
- **主催**： 一般社団法人次世代センサ協議会
- **協賛**： (一社) 電気学会、(公社) 計測自動制御学会、(一社) 日本電気計測器工業会、センシング技術応用研究会、(一財) マイクロマシンセンター、(一社) 日本計量機器工業連合会、(特非) 安全工学会、MEMS パークンソーシウム、モバイルコンピューティング推進コンソーシウム、一般社団法人情報処理学会、enPiT-Pro スマートエスイー、センサエキスポジャパン (依頼予定)
- **参加費**：次世代センサ協議会会員／5,000 円 協賛団体会員／10,000 円 一般／16,000 円 (テキスト代、消費税込)、学生／無料 (但し、レポート提出のこと)  
 ※一般の方で、次世代センサ協議会の個人会員 (年会費 8,000 円) になられる場合は、今回より次世代センサ協議会会員参加費が適用され。是非この機会にご入会をご検討ください。入会に関する詳細は、ホームページよりご確認ください。
- **申込方法**：事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方は下記ホームページよりお申込みください。参加者には受付受領メールお送りします。参加費は後日請求書 (pdf) をお送りしますので、指定銀行に振り込み願います。
- **参加方法**：参加者には、資料を別途ダウンロードいただけます。また、配信開始初日の午前中にオンデマンド用 URL をお知らせします。なお、視聴される方は申込みされた方お一人に限ります。また、資料の転送は固くお断りします。
- **事務局**：一般社団法人次世代センサ協議会 TEL.03-6910-0889 E-mail office@jisedaisensor.org

お申込みはこちらから